

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた課題と取組の状況

【特徴(強み)】

- ・全圏域において、地域自立支援協議会の精神保健福祉検討体制部会にあたる機能を持っている。
- ・県が年2回県全体を対象とした連絡会を開催し、概念的な共通認識を得る機会を持っている。

課題	課題に解決に向けた取組状況	取組の成果
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて、どこから取り組んでよいかわからないといった圏域が存在する。	年2回の三重県精神障がい者地域移行・地域定着推進連絡会において、国立精神・神経医療研究センター藤井千代先生による概念整理につながる講義及び各圏域(市町)ごとのグループワークを通じて圏域(市町)の課題整理を行った。	抽象的な議論に終始しがちな「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」であるが、チェックリストを活用することで具体的な議論につなげることができた。
精神障がい者に対する偏見は根強く当事者が安心して暮らした身近な地域で生活できる地域づくりが求められ、ピアサポーターの活動や効果的な啓発活動が必要	<ol style="list-style-type: none"> ① 平成29年度より取り組んでいる、ピアサポーター交流会(ピアネットカフェ(通称:PNC(ピンク))の活動の継続開催を実施。 ② 吉本興業(株)と連携した「笑い」をテーマとした県民が参加しやすい当事主体型の啓発事業を実施した。 	<ol style="list-style-type: none"> ① ピアネットカフェを開催することでピアサポーター活動の継続と新たにピアサポート活動を始めたい当事者の育成ができた。 ② 一般県民の精神保健福祉分野に関する意識と、当事者の主体性が向上した。

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (現時点)※	目標値 (令和元年度末)	達成状況の見込み(評価)
① 県全体での連絡会の開催回数	2	2	目標回数を達成した。
② ピアネットカフェの開催回数	3	4	4圏域でのピアネットカフェを開催できる見通し
③ 一般県民向けの啓発事業の開催回数	1	1	吉本興業(株)と連携した啓発事業を実施できた。

※現時点の値が分かれば記入して下さい。分からない場合は、年度当初の値で構いません。

● 指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。